

平成27年度第2回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会  
福祉サービス部会会議録

日 時 平成27年8月6日(木) 午後2時から午後3時30分まで

場 所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター4階研修室

出 席 松村幸江部会長、山根清孝副部会長、飯高優子部会員、梅田和男部会員、山澤光史部会員、平野明美部会員、伊藤英史部会員(鎌ヶ谷市障がい福祉課主査)

関係者 長田洋子氏(田辺佳子部会員代理)

欠 席 星野暁洋部会員、櫻井朱実部会員、佐藤弘江部会員、小宮裕子部会員、入野美弥子部会員、田辺佳子部会員

事務局(障がい福祉課) 齊藤実障がい福祉課長、藤嶋晶子係長、高橋亜也子主事  
(もくせい園) 三浦幸嗣氏、花田聡子氏

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

会議資料

- ・式次第
- ・平成27年度福祉サービス部会出欠名簿
- ・「障がいをもつ当事者のニーズを再検討する」アンケート集計結果
- ・今後の検討課題 NPO法人鎌ヶ谷市手をつなぐ親の会から

## 1 挨拶

事務局から、本日の会議には、8名の部会員が出席しているため、定数である過半数を満たしていること及び傍聴者は0名であることを報告した。

## 2 選任書交付

斉藤障がい福祉課長が、第1回福祉サービス部会を欠席した部会員に選任書を交付した。

## 3 議題

(1)「障がいをもつ当事者のニーズを再検証する」アンケート集計結果

部会長 今年度の部会のテーマである「障がいをもつ当事者のニーズを再検証する」アンケート結果について、各事業所から再度概要の説明をお願いしたい。

(部会員からの説明)

- ・千葉県立つくし特別支援学校、ニチイケアセンター新鎌ヶ谷、鎌ヶ谷市手をつなぐ親の会の各部会員から添付資料に沿って説明があった。

部会長 就労継続支援A型事業所ユアポート、鎌ヶ谷市福祉作業所友和園、鎌ヶ谷たんぼぼクラブ、鎌ヶ谷工房のニーズについては、部会員が欠席のため、添付資料「障がいをもつ当事者のニーズを再検証する」アンケート集計結果を参照してほしい。その後、アンケートは提出されていないが、ニーズについて部会員からの意見を確認した。

(部会員からの説明)

- ・千葉県立松戸特別支援学校から、鎌ヶ谷市在籍者は6名（小学部4名、中学部0名、高等部2名）で、保護者からの予想されるニーズは、つくし特別支援学校と重複するところがある。一部として、放課後等デイサービスでは、知的障がいをもつ人が中心に利用する場所を、身体に障がいをもつ人も利用する状況にあること、卒業生の進路で利用する生活介護事業所が不足していること、肢体不自由の人を受け入れる事業所を調節すること等が挙げられる。また、学校全体で166名が在籍しているが、様々な障がい特性をもつ児童が増えてきているため、個人の障がい特性に対応できる施設のニーズも出てくる傾向にある。
- ・あきもと自立支援センターから、事業所間のネットワークを構築し、鎌ヶ谷市内の仕事を共同受注することにより工賃向上を目指していくのはどうか。

- ・きららから、放課後等デイサービスの事業所数が不足している、工賃の向上はなかなか難しい、基本的に親が本人を事業所まで送迎するが、親の高齢化もあるため送迎については将来検討していきたい。

他市では、親の会で結成された事業所に関しては、各事業所が同じ負担でバスを出し、乗り合いで利用して各事業所を回る取り組みも行っているらしい。

部会長 部会員に、保護者が子どもを介助する状況について意見を求めた。

(部会員からの意見)

- ・権利擁護部会では、成年後見制度の普及に努めているが、保護者が子供を手放さない状況が時折見られる。
- ・高齢の保護者は、子どもを手放すことに強い不安をもつ人が多い。
- ・定期的な送迎サービスを提供した場合、保護者が送迎できる状況でも利用してしまい、本来送迎が必要な障がい者が利用できなくなったりはしないか。
- ・送迎や移動のサービスを提供するだけでは、問題を解決することはできないのではないか。

部会長 その他について意見を求めた。

(障がい福祉課からの意見)

- ・障がい福祉課から、障害者優先調達推進法が策定されたが、市内に発注できる事業所がなく、市外に発注していることが多いため、市内の事業所のネットワークを構築し取り込んでいくことを検討してもよいのではないか。

(部会員からの意見)

- ・相談支援事業所同士の繋がりがあれば当事者にとってもよい。(当事者がどこに相談してよいかわからない場合がある。)
- ・部会員から、福祉マップを作成したが、各事業所がどのようなサービスを提供しているかわかりにくいので、わかるようにしていくのもよい。
- ・今後、基幹型相談支援センターが設置された場合は、サービスを受けていない人も基幹型相談支援センターを利用すれば必要な福祉サービスの提供に繋がっていくと思う。また、事業者同士の繋がりが職員同士の勉強会等も広がればよいと思う。

部会長 今回のアンケート結果では、送迎サービスや工賃向上についての意見が多く寄せられたが、工賃向上については、この部会ではなく部会員同士で検討することと考えられる。このため、福祉サービス部会では送迎のサービスについて検討していくこととする。なお、鎌ヶ谷市では、移動支援についてのガイドラインがあり、利用者に確認してもらっているため

ガイドラインの再確認も行っていく。また、障がい福祉課から次回の部会で他市の送迎サービスの事例を提供する予定となる。

次回の部会の開催日時は9月24日（木）午後2時から総合福祉保健センター4階研修室と連絡があった。以上で本日の議題はすべて終了する。

以上

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成27年11月20日

氏名 伊藤 英史

氏名 飯高 優子